

公開学習会

「行きたい学校に入学したい!～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～」実施報告

性の平等に関する委員会委員 小沼 千夏 (66期)

1 概要

2023年3月10日(18時～20時30分)オンラインにて、性の平等に関する委員会セクシュアル・マイノリティプロジェクトチームは、トランスジェンダーの学生を大学で受け入れるにはどのようにすればよいのかを考えるため、「行きたい学校に入学したい!～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～」をテーマに公開学習会を開催した。前半は、委員からの基調講演の後、トランスジェンダー女性の受け入れを表明した日本女子大学において学内の議論を牽引された小山聡子教授、大学として初めてトランスジェンダー学生にかかるガイドラインを制定した筑波大学において「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の策定を担われた河野禎之助教、そしてトランスジェンダー当事者としてRainbow Tokyo 北区代表であり、プライドハウス東京のメンバーとして活動を行われている時枝穂氏にご講演いただき、後半はパネルディスカッションを行った。

2 講演

市川尚副会長(当時)の挨拶の後、本多広高会員、時枝穂氏、河野禎之助教、小山聡子教授が順に講演を行った。本多会員は、性別についての法と現実について概説した。時枝氏には、トランスジェンダーの当事者として、性のゆらぎや大学生活の困りごとなど、ご自身がご経験された様々な困難についてお話しいただいた。

河野助教には、筑波大学におけるガイドラインの策定に関し、支援の意義や現状についてお話しいただいた。

小山教授には、日本女子大学におけるガイドライン策定の中で大切にされたことや経緯についてお話しいただいた。

3 パネルディスカッション

講演に続いて、講師3名と金城美江委員とのパネルディスカッションが行われた。学内手続きにおける性同一性障害の診断書の要否、学籍上の性別変更を戸籍上の性別変更より先行させるか否か、相談窓口の在り方、秘密保持と

性の平等に関する委員会 公開学習会
行きたい学校に入学したい!
～トランスジェンダー学生を取り巻く問題～

2023年3月10日(金) 18:00～20:30
Zoomウェビナーによるオンライン開催
【事前登録制】
チャットでの質問も受け付けます

パネリスト
小山 聡子 氏 (日本女子大学 教授)
河野 禎之 氏 (筑波大学人間学専攻)
時枝 穂 氏 (Rainbow Tokyo 北区 代表)

山本真由 氏 (Rainbow Tokyo 北区 代表)

2023.3.10(金) 18:00～20:30 (オンライン開催)
参加費 無料
どなたでも参加可能
お申し込みは 3月7日まで

お問い合わせ先: 東京井土会 事務局 東京都千代田区麹町1-1-3 TEL:03-3581-2205

学内の情報共有、居場所づくり、個別的な対応の重要性と難しさ、大学生活のその先の就職活動などについて、各大学の考え方や実施状況、課題、そして、それらを当事者、学外の支援団体として時枝氏はどう感じるか、何をハードルと感じるか、どうあれば良いと思うか等について意見交換が行われた。

4 まとめ

パネルディスカッションの後、山本真由美本委員会委員長(当時)の総括をもって本学習会は終了した。

今回は、小山教授や河野助教のご講演により、大学におけるトランスジェンダー学生の困難に関する熱心な取り組みを非常に多角的に知ることができた。そこにトランスジェンダー当事者である時枝氏の見解が加わることで、より一層深い知見を得ることができた。

2022年度もオンライン形式によったが、参加者は2021年度に引き続き36名という多数に上った。ウェビナーの機能を利用したアンケートの回収率は約60%で、回答者の約80%から「とてもよかった」又は「よかった」との評価を頂いた。2023年度以降も引き続き、セクシュアル・マイノリティに関する知見を深めることのできる公開学習会を開催していきたい。

東京レインボープライド 2023 フェスティバルブース出展報告

性の平等に関する委員会副委員長 金城 美江 (67期)

1 イベント概要

東京レインボープライドは、特定非営利活動法人東京レインボープライドの開催する、LGBTQをはじめとするセクシュアル・マイノリティの存在を社会に広め、「性」と「生」の多様性を祝福するイベントで、アジア最大級のセクシュアル・マイノリティ関連イベントです。1994年に東京で日本初のプライドパレードが開催されたことを契機に、2012年から毎年開催されています。

東京レインボープライド2023では、「変わるまで、続ける」をテーマに、2023年4月22、23日に代々木公園でのプライドフェスティバル（のべ動員数22日：10万人、23日：13万人）と、23日の渋谷周辺でのプライドパレード（参加者1万人／梯団数39）が実施されました。

2 当会の出展ブースの様子

性の平等に関する委員会セクシュアル・マイノリティプロジェクトチームは、2023年4月22、23日の2日間にわたり、プライドフェスティバルにブース出展しました。昨年度に初めて行った取組みですが、今年度は、東京三弁護士会多摩支部レインボーメンバーズにもご協力いただき、当会や多摩支部のセクシュアル・マイノリティの法的問題に対する取組みを広く来場者にアピールしました。具体的には、当会の運営するセクシュアル・マイノリティ電話法律相談や多摩支部のレインボー相談のチラシ、よくある相談

例をまとめたQ&A冊子を配布して弁護士へのアクセスを促し、当会が出版したセクシュアル・マイノリティに関する書籍や、当委員会が毎年実施している公開学習会、セクシュアル・マイノリティの人権問題に関して当会が発出した意見書や会長声明等の当会の取組みの紹介をし、あわせて、ボードに付箋でメッセージを受け付けました。反響は大きく、チラシは終了時刻前には全て配布し終え、ボードには貼り切れないほど多くのメッセージをいただきました。ボードへのメッセージや来場者との会話の中で、婚姻の平等やトランスジェンダーに対する差別禁止を求める切実な声や、当会の取組みへの応援などの声がありました。また、過去の公開学習会等に登壇いただいたセクシュアル・マイノリティ当事者や支援団体、他の単位会の弁護士にもブースに立ち寄りいただき、各団体の取組み状況や今後の課題を共有することができました。このような活動により、今回のブース出展では、当会の活動をアピールできたほか、今後の取組みの参考となるご意見等を把握でき、加えて、当会がセクシュアル・マイノリティの問題に取り組む意義を再認識する機会となりました。

筆者の待機時間帯には、「将来LGBTQの問題に取り組む弁護士になりたい」「セクマイ専門の弁護士がいて嬉しい」と来場者から声を掛けられ、活動の励みになりました。

当委員会では、今後もセクシュアル・マイノリティの問題に対する取組みの拡充に努めます。



黒崎副会長、山下副会長と当プロジェクトチームメンバー



来場者からいただいたメッセージ